

ヒト由来アルドラーゼA、組換え

Cat. No. NATE-1663

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 フルクトースビスリン酸アルドラーゼA (Aldolase Aとも呼ばれる) は、フルクトース-1,6-ビスリン酸をグリセルアルデヒド3-リン酸とジヒドロキシアセトンリン酸に可逆的に変換する解糖系酵素です。これは発生中の胚に存在し、成人の筋肉ではさらに多く生成されます。アルドラーゼAの発現は成人の肝臓、腎臓、腸で抑制され、脳や他の神経組織ではアルドラーゼCのレベルに類似しています。欠乏は筋肉障害や溶血性貧血と関連しています。N末端にHisタグを融合させた組換えヒトアルドラーゼAは、E.coliで発現され、従来のクロマトグラフィー技術を用いて精製されました。

別名 フルクトースビスリン酸アルドラーゼA; ALDOA; ALDA; GSD12

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	液体
EC番号	EC 4.1.2.13
分子量	41.5 kDa (384 aa, 1-364 aa + His Tag), confirmed by MALDI-TOF.
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	> 1.5 ユニット / mg
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、25°Cで、1.0 μmoleのフルクトース1,6-ビスリン酸をジヒドロキシアセトンリン酸とグリセルアルデヒド3-リン酸に変換します。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで短期間（1~2週間）保存できます。長期保存の場合は、アリコートして-20°Cまたは-70°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルは避けてください。